

松阪市のバランスシート・行政コスト計算書について

現在、多くの地方公共団体でバランスシートや行政コスト計算書が作成されていますが、松阪市においても平成18年度分について作成を行いました。これらの財務諸表が、市民の皆様にとってわかりやすい財務情報となるよう、なお一層の研究を図ってまいります。

バ ラ ン ス シ ー ト

(平成19年3月31日現在)

(単位：千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1. 有形固定資産		1. 固定負債	
(1) 総務費	11,541,671	(1) 地方債	55,994,944
(2) 民生費	5,073,612	(2) 債務負担行為	
(3) 衛生費	11,605,138	① 物件の購入等	0
(4) 労働費	841,626	② 債務保証又は損失補償	0
(5) 農林水産業費	19,340,973	債務負担行為計	0
(6) 商工費	2,117,830	(3) 退職給与引当金	10,175,968
(7) 土木費	71,295,046	(4) その他	0
(8) 消防費	789,429	固定負債合計	66,170,912
(9) 教育費	47,257,319		
(10) その他	37,166	2. 流動負債	
計	169,899,810	(1) 翌年度償還予定額	5,582,490
(うち土地	51,951,185)	(2) 翌年度繰上充用金	0
有形固定資産合計	169,899,810	流動負債合計	5,582,490
2. 投資等		負債合計	71,753,402
(1) 投資及び出資金	5,590,397		
(2) 貸付金	767,498	[正味資産の部]	
(3) 基金		1. 国庫支出金	28,902,516
① 特定目的基金	5,032,236	2. 都道府県支出金	11,516,162
② 土地開発基金	2,152,452	3. 一般財源等	82,719,810
③ 定額運用基金	200	正味資産合計	123,138,488
基金計	7,184,888	負債・正味資産合計	194,891,890
(4) 退職手当組合積立金	0		
投資等合計	13,542,783		
3. 流動資産			
(1) 現金・預金			
① 財政調整基金	6,254,702		
② 減債基金	746,795		
③ 歳計現金	1,464,584		
現金・預金計	8,466,081		
(2) 未収金			
① 地方税	2,603,592		
② その他	379,624		
未収金計	2,983,216		
流動資産合計	11,449,297		
資 産 合 計	194,891,890		

※債務負担行為に係る補償等 ①物件の購入等に係るもの 315,000 千円
 ②債務保証及び損失補償に係るもの 10,810,200 千円
 ③利子補給等に係るもの 0 千円

バランスシートとは？

バランスシートは、貸借対照表といわれ、一般企業で使われているもので、基準日現在に保有する資産・負債などの蓄積状況を表しています。

近年、全国の地方公共団体において、バランスシートを導入し、資産・負債等を公表している中、松阪市でも現在の財政状況をより正確に把握するために、総務省が公表した作成基準に基づき例年作成しています。作成にあたっては、以下の条件を前提にしています。

- ◇対象範囲 普通会計（※）
- ◇対象期間 昭和44年度～平成18年度
- ◇資産評価 取得原価（取得に要した費用）による。（算定にあたっては、決算統計を使用）
- ◇減価償却 土地以外の有形固定資産については、定額法により減価償却を行っている。

（※）普通会計とは、一般会計と特別会計のうち公営企業会計・地方公営企業法の事業会計を除いたもので、松阪市では一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・ケーブルシステム事業特別会計を合わせたものをいいます。

松阪市		→	市民1人当たり	
資産 1,949 億円	負債 718 億円 正味資産 1,231 億円		市民1人 当りでは	資産 114 万円

（平成19年3月31日現在人口 171,179人）

資産総額は、1,949億円

バランスシートによれば、市が保有している資産総額は1,949億円、負債は718億円、正味資産は1,231億円となっています。資産内訳では道路・学校などの有形固定資産が1,699億円で資産の約87.2%を占め、残りが貸付金・基金・未収金など250億円です。土地は520億円で、有形固定資産の30.6%を占めています。負債は718億円で、将来返済しなければならない債務、すなわち後世代が負担する借金を表しています。内訳は、市債総額が560億円で負債の78.0%を占め、退職引当金は102億円で負債の14.2%を占めています。正味資産は1,231億円で、現在までの世代が既に負担し、次の世代に引き継ぐ正味価値であり、内訳では、国や県からの補助金が404億円、市の独自財源である市税の一般財源などは827億円で正味資産合計の67.2%を占めています。

前年との比較

（単位：千円）

区 分	平成19年3月		平成18年3月		増 減			
		1人当り		1人当り			1人当り	
資産合計	194,891,890	1,139	197,874,082	1,160	△2,982,192	△1.5%	△21	△1.8%
有形固定資産	169,899,810	993	173,157,483	1,015	△3,257,673	△1.9%	△22	△2.2%
投資等	13,542,783	79	13,268,309	78	274,474	2.1%	1	1.3%
流動資産	11,449,297	67	11,448,290	67	1,007	0.0%	0	0.0%
負債	71,753,402	419	72,258,584	424	△505,182	△0.7%	△5	△1.2%
固定負債	66,170,912	386	66,847,183	392	△676,271	△1.0%	△6	△1.5%
流動負債	5,582,490	33	5,411,401	32	171,089	3.2%	1	3.1%
正味資産	123,138,488	720	125,615,498	736	△2,477,010	△2.0%	△16	△2.2%

世代間の負担

（単位：千円）

区 分	平成19年3月	平成18年3月	増 減	
有形固定資産(a)	169,899,810	173,157,483	△3,257,673	△1.9%
正味資産合計(b)	123,138,488	125,615,498	△2,477,010	△2.0%
(これまでの世代による)				
社会資本負担比率(b/a)	72.5%	72.5%	0.0ポイント	
負債合計(c)	71,753,402	72,258,584	△505,182	△0.7%
(後世代による)				
社会資本負担比率(c/a)	42.2%	41.7%	0.5ポイント	

